

令和6年8月25日号

発行所／(有)アミックス

〒957-0018 新発田市緑町 2-6-45-7 号棟

tel 0254-20-7841 fax 0254-20-7851 http://sop-web.com



「しばた」
を知って楽しみ、
「新しいしばた」
の町をつくる新聞

原料はすべて
自然由来です

新発田健康ファーム
高橋農園の
手作りジャム

600円税別
●ルレクチュ ●りんご ●桃

高橋農園
(新発田市横山1314)
TEL.0254-29-2287
http://takahashinouen.com/

しばた健康ファーム 検索



沢渡り体験

7月29日(月)～31日(水)の3日間、昨年に引き続き災害時応援(防災)協定を結んでいる神奈川県海老名市の小学4年生10人が、新発田市の7小学校の学童10人と「防災キャンプ」を軸として「科学・スマート農業・新発田観光」などを体験・交流し、きずなを深めた。

雨で増水のため体験場所を変更、安全な「沢渡り体験」を実施

海老名から着いた小学生たちは「赤谷の家」に着くとすぐに滝谷森林公園に向かいライフジャケットを着用、あいにく前日までの雨で加治川が増水していたため「川流れ体験」は行わず、安全な支流で「沢渡り体験」をした。まず子どもたちは「しびれるほどの水の冷たさ」に驚き、次に早い流れの中では自由に動けないことも体験した。虫やトカゲを見つけて自然の豊かさに目を見張っていた。体験指導に協力してくれた自衛隊の「隊友会」の皆さんの動きはまったく

海老名の小中学生、昨年が続いて新発田で防災キャンプなど体験

無駄なく、小学生たちの安全・安心を確保していたのはさすがだった。

「赤谷の家」に帰ってからは、防災の座学に続いてダンボールでベッドを作ったり、非常食を体験したりした。停電に備えて作ったペットボトルのランタンに灯りがついたときは歓声が上がっていた。

翌朝は、毛布での担架(たんか)づくりや水消火器体験をした。

顕微鏡をのぞいて動くこうじ菌に歓声、スマート農業では草刈りロボットに夢中

2日目、防災キャンプを終えた一行は内之倉ダムに向かった。

内之倉ダムは上水道用水・農業(かんがい)用水・洪水調整防止・発電の4機能を持つ中空式重力ダムで、昭和27(1952)年に計画が始まり、昭和41・42年の羽越水害をきっかけに水害から流域を守る機能が加えられ、昭和49年度に竣工した。これに平成24(2012)年に始まった加治川用水2期工事の成果も相まって、最近では加治川堤防の決壊などは起こっていない。

内之倉ダム見学は防災・治水学習の観点から今年度新たに取り入れたもので、併せて酷暑対策の意味もあった。



沢渡り体験



寝床づくり



非常食づくり



ランタンづくり

子どもたちはダム内の冷たい空気、暗さ、声の反響などに感動した様子だった。「凍えそう」などの声もあり、小学校4年生が難しい治水の話を理解できたかはやや疑問が残る。羽越水害時の映像などもあるともう少し理解も進んだのではないかと。大雨でもダムがあることにより安全が保たれていることを知らしめる分かなりやすい仕掛けが必要だ。

蔵春閣での昼食後、五階までフロシエクションマッピングを鑑賞、一行はキネス天王に移動、長岡技術科学大学の中山先生・片山先生らの指導で「こうじ菌」や「なつと菌」を顕微鏡で観察した。菌類は発酵など、様々な形で人の役に立つことを分かりやすく学習させてもらった。

この日は月岡温泉(ひさぎ荘)に宿泊。先生の引率でいきなり「足湯」につかったり、「もっと美人になる温泉」と聞いて子どもたちは大喜び、実は後で実施したアン

コラム

あっという間の夏



稲に風

五十公野山の麓、千光寺から帰るとき、頭上の林からカナカナと鳴く声が聞こえた▼ついさっきまではミンミン蝉がうるさいほどだったのに…。見上げる空が高い。飛行機雲が風に吹かれて横に広がり、イワシ雲というのだろうか、はるか彼方に見える。秋なんだ、と教えられた▼7月末には海老名の小中学生が「防災キャンプ」と称して、今年もやってきた。ありがたいことだ。何より子どもたちが嬉しそうに川に入った、教え合いながらダンボールベッドを作っているのを見ていると幸せな気分になる▼世話をしてくれた市の担当課の方々は大変だったろうが、この体験と交流はいろいろな意味できっと彼らの役に立つと思う▼聞けば9月1日「防災の日」に海老名の小学校で避難訓練が行われるとき、参加した子どもたちが「防災キャンプ」の成果を発表するとか。日頃の備えで災害の被害は減らすことができる▼折しも、8月8日の午後5時前、宮崎県日向灘で発生した地震で気象庁は「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」を出した。15日には解除されたが、次は台風7号が接近中とかで東海道新幹線は東京―名古屋間で運転中止、うかうかしていられない▼それにしても夏はあっという間だった気がする。今年の秋は穏やかであってほしい。「通り抜けできさうに空澄んでをり」(和田耕三郎)。



内之倉ダム内を見学

ケートで印象に残ったところはどのくらいで一番多かった答えが「月岡温泉」だった。

3日目はスマート農業体験。アグリ・システム(代表齋藤斗南氏)で卓刈りロボットの操縦体験をした後、トウモロコシを収穫ゆでたてのトウモロコシを味わった。

交流は農水・商工・観光・生涯学習など各課の連携で進められていたが、主管は市民まちづくり支援課で、その苦労は一方ならぬものだった。参加者のアンケートでは「ほとんどが「みんな仲よく学んだり、遊んだり楽しかった」とある。帰りにお互いの連絡先やメールアドレスを交換していたのが印象的で、「交流の目的は果たした」と言える。

佐々木盛綱つながりて海老名市と防災協定を結ぶ

今回の交流は昨年に続いて2回目。決め手は令和3(2021)年11月に海老名市と当市の間で結んだ「災害時における相互応援に関する協定(防災協定)だ。

協定のきっかけを作ったのは新発田市湖南出身の海老名市議会議員・故大坂城二氏だ。大坂氏はふるさとへの加地荘の祖である佐々木盛綱の研究を行っていた。それを旧新発田藩家臣で現在海老名市在住の里村修



蔵春閣で昼食

平氏が「新発田盛綱会(会長伊藤喜行氏の会員で盛綱の頭取をライフワークとしている前市議会議員の今田修栄氏に紹介した。今田氏は市議会でも海老名市との交流を提案、二階堂市長は「民間交流から行がて行政間の交流に発展させたい」「発言し、それが防災協定締結に結び付いた。

懇親会で二階堂新発田市長は「今回は防災協定ですが、今後は文化・経済、いろいろな花が咲くことを望んでいます」と挨拶、内野優海老名市長は「災害はないほうがいいが、あったときに助け合うのが今回の協定。しかし、これを機に様々な交流を続けていきたい。例えば私が食べているおコメは新発田のもの」と返し、今では年に5トンの



防災協定調印(令和3年11月8日)



新発田産米が海老名市の給食で使われている。今回の交流はその延長で、新発田市が平成29(2017)年度から市内小学校を対象に実施してきた「防災キャンプ」のノウハウが生きたのである。

「城資盛の乱」を平定して加地荘を賜った

佐々木盛綱は鎌倉幕府を開いた源頼朝のいとこで最側近だった。父秀義が平治の乱で敗れて奥州の藤原秀衡のもとへ逃げる途中、海老名市を含む相模国で渋谷重国にかまわれた。その折盛綱は伊豆の蛭ヶ小島に追放されていた頼朝に20年仕え、治承4(1180)年の平氏との緒戦に参加した。盛綱はその後、平氏を滅亡に追い込むきっかけとなった元暦(1184)年の今の倉敷市、備前藤原合戦に勝利した。頼朝の死後は出家していたが、えられて建元(1200)年の「城資盛の乱」を鎮圧、加地荘を賜ったと伝えられている。

倉敷市とはすでに30年の付き合い、近年は「藤原合戦保存振興会」と交流

平成元(1989)年、新発田市三市市在住の故渋谷鼎氏が加地氏関係資料を倉敷市の「福田史談会会報」に寄稿、同年9月に倉敷市から同会メンバーが東宮内の藤原神社を訪問した。平成27(2015)年には新発田市の有志が倉敷市の「藤原合戦保存振興会」の演説の浦ものがたりを鑑賞、民間交流が始まった。有志は「新発田盛綱会」を結成、



倉敷を訪問した「新発田盛綱会」、伊東市長に「新発田盛綱米」贈呈



安中で松岸寺・盛綱供養塔を参詣

蟻塚税務会計事務所 新発田市大栄町 7-1-6 TEL.0254-23-2222	茨木建設(株) 新発田市長畑 284-1 TEL.0254-23-6851
飯豊電設工業(株) 新発田市豊町 2-18-5 TEL.0254-24-2134	新発田ニュー プラザホテル 新発田市諏訪町 1-9-29 TEL.0254-26-3131
(株)伊藤組 新発田市島湯 1273-1 TEL.0254-22-4176	新発田建設(株) 新発田市富塚 1942 TEL.0254-27-5711
(株)イノウエ 新発田市新栄町 1-3-2 TEL.0254-22-4056	しばたパッカーズ(株) 新発田市奥山神保 427 TEL.0254-22-2334
(株)岩村組 新発田市大手町 4-3-21 TEL.0254-20-5550	島津印刷(株) 新発田市富塚 1419 TEL.0254-27-2101
SODデザイン 高橋智志 新発田市緑町 2-17-26 TEL.0254-24-5121	(株)新和組 新発田市米倉 1287 TEL.0254-28-5011
小野寺税務会計事務所 新発田市大栄町 2-7-7 TEL.0254-22-3497	大進電業(株) 新発田市佐々木 1895-9 TEL.0254-21-5000
(株)下越道路 新発田市新富町 1-1-5 TEL.0254-23-2296	(株)大通 新発田市舟入町 1-12-5 TEL.0254-26-1191
(有)クサカベモーターズ 新発田市五十公野 4936 TEL.0254-22-6311	フジマ舗道(株) 新発田市島湯 4197-3 TEL.0254-26-5030
(株)こじまホールディングス 新発田市中央町 3-5-12 TEL.0254-26-3381	扶桑畜産(有) 新発田市米倉字鳥越 4666-1 TEL.0254-28-5136
小林税務会計事務所 新発田市中央町 5-4-27 TEL.0254-22-2705	山田建設(株) 新発田市大友 3856 TEL.0254-25-0700
小柳産業(株) 新発田市八幡新田 416 TEL.0254-22-7010	(株)安田組 新発田市豊町 4-3-39 TEL.0254-24-1761

介護老人 福祉施設 陽だまり苑 新発田市岡田 1746-1 TEL.0254-20-3800	(株)オオヌマ 新発田市五十公野 3969 TEL.0254-22-2223
複合型 福祉施設 コンフィ陽だまり苑 新発田市諏訪町1-10-38 TEL.0254-24-1111	尾田建設 新発田市荒町甲 47 TEL.0254-22-4200

割烹 志まや
新発田市御幸町1丁目1の1
☎(0254)22-2102(代)

「星」を

堀部安兵衛 生誕350年 記念出版

もりいくすお漫画
「熱血 堀部安兵衛物語」
(A4・36頁)
1,000円+税

富澤信明論文集
「実録 堀部安兵衛」
(A5・360頁)
2,000円+税
一系図から読み解く忠臣蔵一

発売所
高木書店
〒957-0052
新発田市大手町 1-2-13
☎0254(22)3241

新発田市観光協会
〒957-0055
新発田市諏訪町 1-2-11
☎0254(26)6789

本格スタディー・ツーリズム、東京から修学旅行誘致に成功

昨年の広尾学園小石川中・高校に今年は攻玉社中・高校の生徒が加わり、計30人がスタディー・ツーリズムで8月5日(月)〜7日(水)、新発田市を訪れた。代理店の日本旅行によると「参加した生徒は自主参加。なかには昨年参加した子もいます」という。修学旅行が観光から探求へ様変わりしつつあるようだ。帰国子女も混じっていて、日本語より英語が得意、友達との会話は英語だった。時代と地域性を強く感じた。

学習では専門的な質問が相次ぎ、ごはんのおいしさに目を見張った初日
初日はキネス天王で市農水課から「オーガニックSHIBATAプロジェクト」のねらいや経過を聞き、有機農業を推進することで農業所得の向上や農地保全につながることを学んだ。続いて長岡技科大からスマート農業の進捗を聞き、実際にドローン操縦や合鴨ロボットを体験した。最後に新



キネス天王でドローン体験



アグリシステムの田圃を見学



アドバンファームでキャベツの定植

潟東港運輸の協力でドローンによる記念撮影を行い、市観光振興課が用意した有機JAS米のおにぎりの試食では「おいし〜」「いつも食べているお米と全然違う」と目を見張り、笑顔があふれた。

宿は月岡温泉(泉慶)で、ミライズから「歩きたくなる温泉街」への取組を聞いた後、温泉街へ繰り出して、ミライズのコンセプトショップなどを回って楽しんだ。余談ながら夕食、朝食に出たごはん、ほぼ全員が交代わりした。もちろん、エメラルドグリーンの温泉は大好評だった。

有機資源センターで深くうなずく姿に新しい観光の可能性を見出した
2日目はまず、オーガニックとスマート農業の先端を行く菅谷のアグリ・システムを訪ねて上石川の圃場を見学、一般コシと有機コシの違いを学び、ドローンや「草刈りロボット」を体験した。生徒たちは「技術が

進めば省力化だけでなく、お米もおいしくなるんだ」と感心、それを聞いた社長の斎藤斗南氏は嬉しそうに「自分の田んぼだと思っただけでも来てくれた。」

その後、豊浦の小坂アドバンファームを訪ねた。こちらは140ヘクタール以上の圃場でお米と野菜の複合経営を実践している。一般的には「越後姫」の摘み取りができる農場の先駆けというイメージだが、従業員が普通に休めて給料も良いという農業を実現するために「栽培する野菜の種類を決めている」と収入を増やして労働量を減らす工夫を説明。説明後、アスパラガスの刈り取りとキャベツの定植を体験した。アスパラ畑にごく少量の水が張られていることなどに「なぜ」と質問が飛んだ。キャベツの定植は機械で行うが、「普段は昼の休憩時間を長くするため作業はしていないけど、今日は特別にお見せするために作業しています」



加治川有機資源センターで堆肥づくりを見学

と経営者の本間清起さん。ここでは「水やりはごうするのかがこの質問が飛んでいた。この日の最後は加治川有機資源センターを視察し、学習した。説明にあたったのはセンター長の森谷圭氏。全県2位の耕作面積と畜産出荷を誇る新発田市の特徴から、なぜ有機資源センターでの畜糞処理が必要で「食の循環」が重要なかを解説していた。生徒からは「よく分かった」と声が上がっていた。次に堆肥づくりの現場を見学、臭いを抑えるための見学施設も改修が終わったばかりで、生徒たちは出来立ての堆肥に実際に触ったりしていた。

最終日はふた手に分かれて新発田城など新発田市内の観光地などを見学した。

観光振興課、スタディー・ツーリズム推進。蔵春閣の縁で東京経済大にもアプローチ
観光資源が乏しいと言われる当市だが、市観光振興課はスタディー・ツーリズムを「団体旅行の最終形」ととらえ、新発田らしい独自のコンテンツを開発、商品化に余念がない。最終的には「観光拠点の月岡温泉旅館の平日稼働とインバウンド誘客」を同時に実現したいと意気込んでいる。8月末には別の学校が当市を訪れるとともに、大倉喜八郎の縁で東京経済大学にもアプローチするなど、積極的な展開が頼もしい。

蔵春閣の縁で東京経済大にもアプローチするなど、積極的な展開が頼もしい。

8/27(火)~9/1(日)

とんとんに
あまうがい
ぶどうが大集合!!

ぶどうマルシェ

TON TON

●新発田店 9:00~18:00
新発田市荒町1480
☎0254-20-2229

●松崎店 9:00~19:00
新潟市東区新松崎1-6-14
☎025-274-2229

極上のエンタメ小説誕生!

エヴァーグリーン・ゲーム

高木書店などで好評発売中

新発田出身作家デビュー

石井仁蔵著 1,700円+税

新発田生まれの新進作家・石井仁蔵がデビュー、ポプラ社第12回小説新人賞受賞作は10月29日(日)発売された。チェスを軸にした青春群像、感動的な成長物語で、ラストは涙なしで読むことはできない。

感動!!

スポーツトレーナーと一緒に いつまでも元気で自由に動ける身体を作りましょう！

中央町 パル陽だまり苑 はれやか 倶楽部

9月のご案内 毎週火曜日 10:30~11:30

3日 (火)

鳴海みのりの

脳トレ のりのり体操

楽しい運動習慣作り！



10日 (火)

市井辰樹の

元気アップ たっちゃん体操

いい汗かきましょう！



17日 (火)

鳴海みのりの

脳トレ のりのり体操

身体も頭も使って楽しく！



24日 (火)

市井辰樹の

元気アップ たっちゃん体操

元気な身体作り！



時間：10:30~11:30

持ち物：動きやすい内履き、飲み物

参加費：各教室 300円

定員：45名

どなたでもご参加いただけます。皆様のご参加をお待ちしています。♥

パル陽だまり苑 新発田市中央町5-4-2 TEL 0254-23-1117

竹久夢二生誕140周年記念 地域交流特別企画



版画「黒猫を抱く女(つくしや版)」制作年・大正期(阿賀野市所蔵)

夢二の美人画展

阿賀野・二瓶コレクション

2024 7月16日火 - 9月23日 月・祝

開館時間 / 午前9時~午後5時(入館券の販売は午後4時30分までとなります。)

休館日 / 月曜日(ただし8月12日、9月16日、23日は開館し、翌火曜日を振替休館といたします。)

入館料 / 一般・大学生550円(有料入館者 20名様以上は団体料金 440円)

高校生 230円、小・中学生 120円

※障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方は無料(受付で手帳をご提示ください。)

主催：新発田市、新発田市教育委員会、踏谷虹児記念館 特別協力：阿賀野市、吉田東伍記念博物館

踏谷虹児記念館

〒957-0053 新潟県新発田市中央町4-11-7
電話&FAX 0254-23-1013(直通)

源氏物語絵を読み解く

令和6年度夏季企画展

蔵春閣の調度品として新発田市にもたらされた大倉家旧蔵の「源氏物語絵屏風」、市島家に伝来する「源氏物語絵色紙形」。この二つの絵画資料を通し、時代を越え広く鑑賞の対象として親しまれてきた「源氏物語」に見る「王朝絵巻」の世界を紹介いたします。



令和6年 6/29(土) - 9/23(月・祝)

開館 / 9時~17時 1階展示室・入場無料

月曜休館(祝日開館・翌日休館)

歴史散策「城下町まち歩き~二の丸・四之町編~」

—江戸時代の町絵図を手掛かりに歴史散策をしませんか?—

日時 / 9月14日(土) 13:30~16:00 終了予定(受付 13:00~)

参加費 / 200円(保険料、資料代)

定員 / 15名(申し込み先着順)

対象 / どなたでも(初めての方を優先します)

集合場所 / 新発田市立歴史図書館 2階 会議室

受付 / 8月29日(木)~ 電話か事務室まで

ギャラリートーク 当館職員による展示解説

日時 / 9/7(土)

AM11:00~11:30 PM13:30~14:00

※事前申込不要。当日、1階展示室へお越しください。

ワークショップ「おとなのよみ聞かせ」

講師 / 峯島百代氏(フリーアナウンサー・古典朗読家)

日時 / 源氏物語原文「浮舟」

8月24日(土) 13:30~15:00

※募集期間：8月6日~8月23日

定員 / 20人(申し込み先着順)

場所 / 歴史図書館 1階 展示室1

古典の朗読をおこなっているフリーアナウンサーを講師として、屏風絵に描かれた源氏物語の場面を原文朗読します。(※展示室に椅子を並べ、展示品を見ながらの鑑賞となります。)

新発田市立歴史図書館 新発田市中央町4-11-27 ☎0254-24-2100